

東北地方 1 か月予報

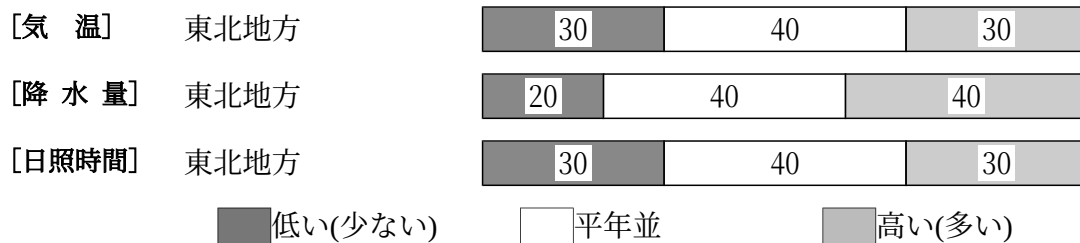
(6月30日から7月29日までの天候見通し)

平成19年6月29日
仙台管区气象台発表

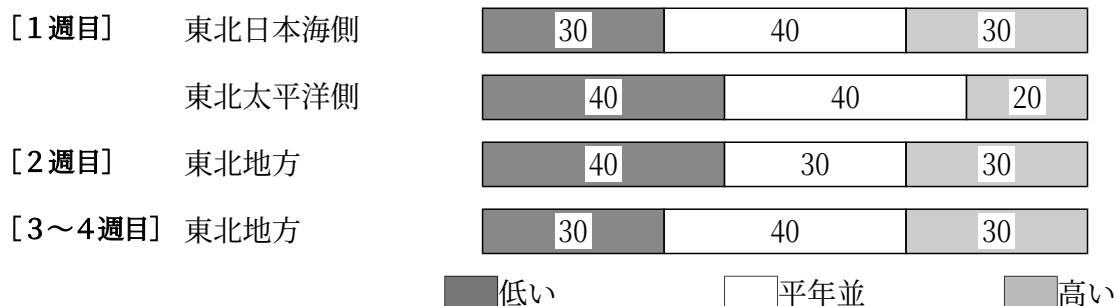
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
向こう1か月の降水量は、平年並または多い確率がともに40%です。
週別の気温は、1週目は東北太平洋側で平年並または低い確率がともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 6月30日(土) ~ 7月29日(日)
1週目 : 6月30日(土) ~ 7月 6日(金)
2週目 : 7月 7日(土) ~ 7月13日(金)
3~4週目 : 7月14日(土) ~ 7月27日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は7月6日
3か月予報：7月25日(水) 14時

＜参考資料（平年並の範囲等）＞

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3～4 週目の平均気温）

	気 温 (°C)	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温(°C)		
				1 週目	2 週目	3～4 週目
青森	20.8	97.3	171.4	19.0	20.0	21.8
深浦	21.1	140.6	172.0	19.3	20.3	22.0
むつ	19.3	118.1	145.9	17.5	18.5	20.2
八戸	19.9	112.2	161.1	18.0	19.1	20.9
秋田	22.5	175.5	164.4	20.7	21.6	23.4
盛岡	21.5	161.2	137.7	19.9	20.8	22.3
大船渡	20.7	168.6	142.3	19.1	20.0	21.6
宮古	19.7	137.3	140.4	17.9	18.9	20.6
仙台	21.7	161.6	120.1	20.0	21.0	22.6
石巻	21.1	131.9	139.4	19.4	20.4	21.9
山形	22.9	142.8	146.3	21.3	22.2	23.8
新庄	22.0	183.9	145.4	20.4	21.3	22.9
酒田	22.9	182.6	170.4	21.1	22.0	23.8
福島	23.2	146.8	125.6	21.5	22.6	24.1
若松	23.1	160.6	158.3	21.5	22.5	24.0
白河	21.7	189.2	122.3	20.1	21.2	22.5
小名浜	21.5	128.3	143.0	20.0	20.9	22.2

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(°C)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.2～+0.6	86～113	92～108
東北日本海側	-0.3～+0.5	82～118	89～108
東北太平洋側	-0.2～+0.7	83～114	92～112

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3～4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北地方	-0.7～+0.6	-0.8～+0.6	-0.5～+0.9
東北日本海側	-0.6～+0.6	-0.7～+0.5	-0.5～+0.8
東北太平洋側	-0.9～+0.6	-0.9～+0.8	-0.5～+0.9

＜参考資料（利用上の注意）＞

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間ににおける各階級の出現率が等分（それぞれ 33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10％以下や 60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 19 年 6 月 29 日 仙台管区气象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月（6 月 30 日～7 月 29 日）：

前線や湿った東風の影響で、東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

なお、6月25日(月)に発表された3か月予報の7月の気温については、今回発表の1か月予報をご利用ください。

1 週目（6 月 30 日～7 月 6 日）：

向こう一週間、梅雨前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多いですが、期間のはじめは高気圧におおわれて晴れの日があるでしょう。

平均気温は、東北太平洋側では平年並または低い確率がともに40%、東北日本海側では各階級の確率の偏りは小さい。

2 週目（7 月 7 日～7 月 13 日）：

前線や湿った東風の影響で、東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

3～4 週目（7 月 14 日～7 月 27 日）：

前線や湿った東風の影響で、東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多いですが、高気圧におおわれ晴れる日もあるでしょう。

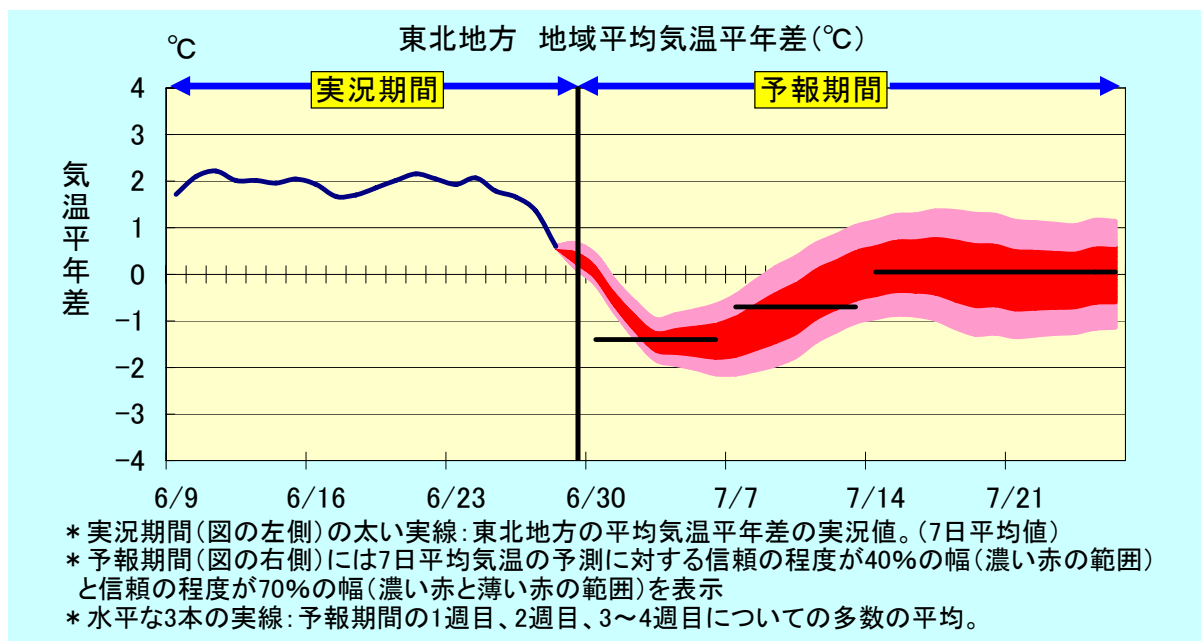
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	12.7 日	2.9 日	2.6 日	7.2 日
東北太平洋側	10.9 日	2.5 日	2.3 日	6.1 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1 週目は平年を下回る予想となっており、2 週目、3～4 週目はおおむね平年並の予想となっている。予報は、週間予報資料などその他の資料から、1 週目の低温の可能性を数値予報より小さく考える。

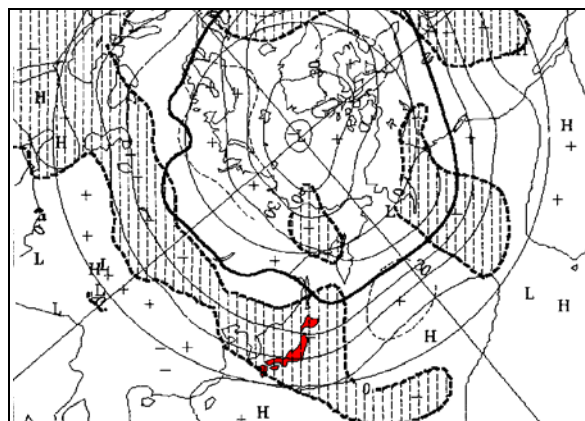


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

1か月平均: 太平洋高気圧は北への張り出しが弱い。日本付近は負偏差で気圧の谷となっており、東北地方も一時的には寒気の影響をうけることがある見込み。

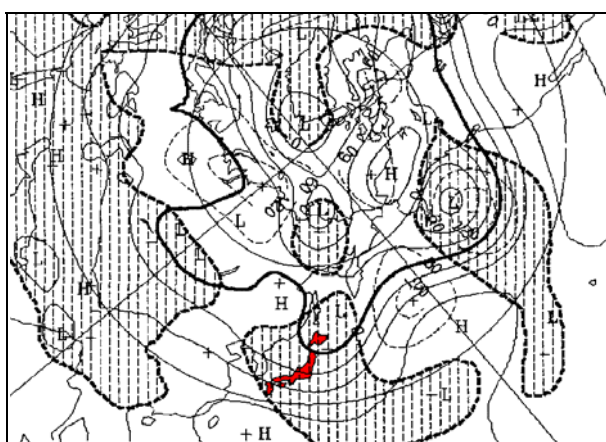
1週目: 太平洋高気圧の北への張り出しは弱い。日本の東は気圧の谷になっていて、東シベリアでは等高線が北へ盛り上がっている。一時寒気やオホーツク海高気圧の影響で、東北太平洋側を中心に、気温が低くなる可能性がある。

2週目: 1週目に比べ日本の西の負偏差が広がり、日本の西が気圧の谷になりやすい。暖かく湿った気流の影響を受け、前線の活動が活発になるおそれがある。

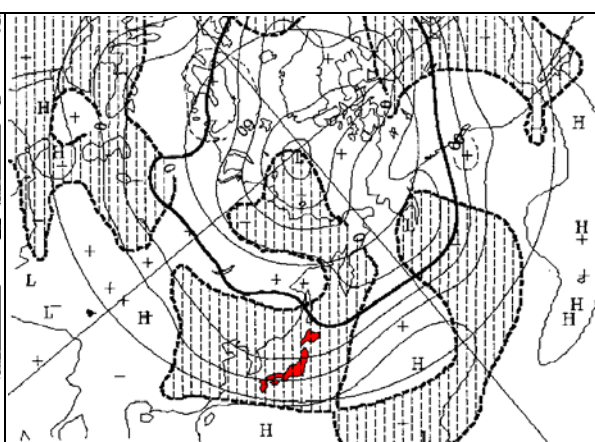


1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500 hPa 予想天気図



2週目平均 500 hPa 予想天気図

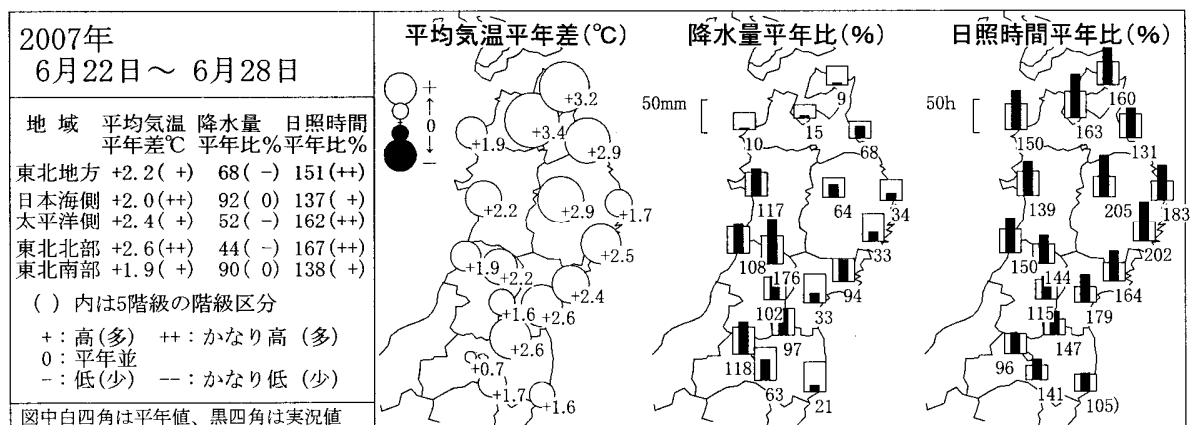
実線は、等高線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間（6月22日～6月28日）の天候の経過

この期間、22日と25～26日は前線や低気圧の影響で雨のところが多かったが、その他の日は高気圧におおわれ、晴れて気温の高い日が多かった。26日は山形県内では短時間に強い雨が降ったところもあり、土砂災害や浸水害が発生した。

平均気温は東北北部でかなり高く、東北南部で高い。降水量は東北北部で少なく、東北南部で平年並。日照時間は東北北部でかなり多く、東北南部で多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）